

アンケート調査の実施計画（案）

資料5
西 東 京 市
男女平等参画推進委員会
平成29年7月21日

1. 調査目的

この調査は、市民や職員の男女共同参画に関する意識・実態を把握するとともに、区の施策に対する要望等を総合的に把握し、「西東京市第3次男女平等参画推進計画 西東京市配偶者暴力対策基本計画」の改定及び「西東京市女性活躍推進計画」策定のための基礎資料として活用することを目的に実施します。

2. 各調査の概要

① 男女平等参画に関する市民意識・実態調査

- ア 調査対象：西東京市に居住する満18歳以上の市民（無作為抽出、年齢層別、男女別） 2,000人
- イ 調査方法：郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）
- ウ 調査期間：9月下旬～10月上旬
- エ 調査項目：回答のしやすさに配慮し、一部、選択肢などの改変を行います。

大項目	今回の調査項目(案)	市民・職員 共通項目	前回調査 との比較	国・都等 との比較
回答者の 属性	問1 性別	※	○	
	問2 年齢	※	○	
	問3 家族構成	※	○	
	問4 既婚・未婚	※	○	
	問4-1 (結婚している人に)共働きの状況	※	○	
男女平等参画 の意識	問5 居住地域		○	
	問6 「夫は外で働き、妻は家を守るべきである」との考え方について	※	◎	国
	問7 男女の地位の平等感	※	○	国・都
家事・育児・介護	問8 女性が仕事をもつことについての考え	※	○	国・都
	問9 自分が行っている家事・育児・介護など	※	◎	
	問10 家事・育児・介護などに携わっている時間(平日、休日)	※	●	
職場における 女性の活躍推進	問11 男性の家事・育児・介護などへの参画に必要なこと	※	●	(国)
	問12 収入を伴う仕事の有無		○	
	問12-1 昇進意向		●	
	問12-2 職場でハラスメントを受けた経験の有無	※	●	
	問13 経済状況		●	
	問14 今後の就労意向		●	
	問15 女性が再就職を希望する際に役に立つもの		○	
	問16 女性が出産後も同じ職場で働き続けるために必要なこと		●	国
仕事と生活の調和 (ワークライフバランス)	問17 男性が育児休業を取得しやすくするために必要なこと		●	
	問18 コミュニティ・ビジネスなど起業への関心		○	
地域・防災	問19 「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」の優先度(希望と現実)	※	○	国・都
	問20 仕事と生活の調和(ワークライフバランス)のために必要なもの	※	○	
人権	問21 地域活動への①参加状況②参加意向	※	◎	
	問22 防災分野で男女平等の視点を生かすために重要だと思うこと	※	◎	
	問23 自分の性別で悩んだ経験の有無	※	●	
	問24 配偶者等から暴力を受けた際の相談機関の認知度		○	
	問25 配偶者等から暴力を受けた経験の有無		◎	国
男女平等参画を 進めるために 必要な施策	問25-1 (暴力を受けた経験がある人に)配偶者等から暴力を受けた時の相談経験		○	国
	問25-2 (誰にも相談しなかった人に)誰にも相談しなかった理由		○	国
	問26 西東京市の男女平等推進の取り組みの認知度	※	◎	
	問27 市の審議会と市議会における女性の割合への考え	※	○	
	問28 政策や方針決定過程に女性の参画が少ない理由	※	○	
自由回答	問29 男女平等推進条例制定についての意向	※	○	
	問30 西東京市が特に力を入れていくべき男女平等参画施策	※	◎	
自由回答	問31 自由意見	※	○	

※凡例は2Pを参照

② 男女平等参画に関する職員意識・実態調査

ア 調査対象：西東京市役所で働く全職員 男女1,000人

イ 調査方法：男女共同参画室を通じて配布・郵送回収

ウ 調査期間：10月中旬～10月下旬

エ 調査項目：回答のしやすさに配慮し、一部、選択肢などの改変を行います。

大項目	今回の調査項目(案)	市民・職員 共通項目	前回調査 との比較	国・都等 との比較
回答者の 属性	問1 性別	※	○	
	問2 年齢	※	○	
	問3 家族構成	※	○	
	問4 既婚・未婚	※	○	
	問4-1 (結婚している人に)共働きの状況	※	○	
	問5 職務名		○	
	問6 役職名		○	
男女平等参画 の意識	問7 「夫は外で働き、妻は家を守るべきである」との考え方について	※	◎	国
	問8 男女の地位の平等感	※	○	国・都
	問9 女性が仕事をもつことについての考え	※	○	国・都
家事・育児・介護	問10 自分が行っている家事・育児・介護など	※	◎	
	問11 家事・育児・介護などに携わっている時間(平日、休日)	※	●	
	問12 男性の家事・育児・介護などへの参画に必要なこと	※	●	(国)
職場における 女性の活躍推進	問13 仕事における性別の優遇度		○	
	問14 女性の管理職の割合が低い割合にとどまっている要因		○	
	問15 管理職への昇進意向		○	
	問15-1 (昇進したい人に)昇進に必要な支援		●	
	問15-2 (昇進したくない人に)昇進したくない理由		●	
	問16 男女平等の研修の受講経験		○	
	問16-1 研修を受けたことによる意識の変化		○	
問17 職場でセクシュアル・ハラスメントを受けた経験の有無	※	●		
仕事と生活の調和 (ワークライフバランス)	問18 「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」の優先度(希望と現実)	※	○	国・都
	問19 「仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)」のために必要なもの	※	○	
	問20 育児休業の取得経験、取得意向		○	
	問20-1 育児休業の取得に抵抗がある理由		○	
	問21 介護休暇の取得経験、取得意向		○	
	問21-1 介護休暇の取得に抵抗がある理由		○	
地域・防災	問22 地域活動への①参加状況と②参加意向	※	◎	
	問23 防災分野で男女平等の視点を生かすために重要だと思うこと	※	◎	
人権	問24 自分の性別で悩んだ経験の有無	※	●	
	問25 窓口における配偶者等からの暴力を受けた相談経験の有無		●	
	問26 配偶者等からの暴力被害者や加害者への窓口における対応方法の認知状況		●	
	問27 配偶者等からの暴力被害者や加害者への対応で困った経験の有無		●	
	問27-1 (ある人に)困った経験(自由回答)		●	
男女平等参画を 進めるために 必要な施策	問28 西東京市の男女平等推進の取り組みの認知度	※	◎	
	問29 市の審議会と市議会における女性の割合への考え	※	○	
	問30 政策や方針決定過程に女性の参画が少ない理由	※	○	
	問31 男女平等推進条例制定についての意向	※	○	
	問32 西東京市が特に力を入れていべき男女平等参画施策	※	◎	
自由回答	問33 自由意見	※	○	

<凡例>

○：前回調査と同じ調査項目 ◎：前回調査から一部修正する調査項目 ●：今回調査で新規に設定する調査項目

国：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成28年)及び「男女間における暴力に関する調査」(平成26年)などと比較する項目

都：東京都「男女平等参画に関する世論調査」(平成27年)と比較する項目

3. 削除する項目（問番号は前回調査に対応）

① 男女平等参画に関する市民意識・実態調査

大項目	今回の調査項目(案)
回答者の属性	問4 同居家族
日頃の生活	問10 主に家事・育児・介護を担っている人
仕事	問11-1 (仕事をもっていない人)以前の仕事の経験
	問11-2 (仕事をもっていない人)現在仕事をしていない理由
	問13-1 (新しい仕事づくりをしてみたい人)新しい仕事づくりをしてみたい理由
	問13-2 (新しい仕事づくりをしてみたい人)新しい仕事づくりでしてみたいこと
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)	問15 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の言葉の認知度
	問17 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」を必要だと思うか
人権	問19 配偶者等からの暴力を見聞きした経験
	問20 配偶者等からの暴力を見聞きした際の望ましい対応

② 男女平等参画に関する職員意識・実態調査

大項目	今回の調査項目(案)
回答者の属性	問4 同居家族
仕事	問8 主に家事・育児・介護を担っている人
	問14-1 (昇進したくない人に)昇進したい理由
	問14-2 (昇進したくない人に)昇進に必要な支援
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)	問19 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の言葉の認知度
	問21 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」を必要だと思うか
	問22 「西東京市ワーク・ライフ・バランス推進労使宣言」の認知度
人権	問24 配偶者等からの暴力被害について友人・知人から相談されたことの有無
	問25 配偶者等からの暴力を受けた際の相談機関の認知度
	問26 職場におけるハラスメントの認知度